

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫

2015年7月2日（木）9:30～15:30

- 作業項目： 1）枝打ち・つる切り
2）水切り溝整備
3）枯木伐倒

44 林班東南部の東海自然歩道沿い地区の整備を天狗杉に向って約300m延伸。前回(6/21)同様「高枝鋸」を使用しているの枝打ちの次はつる切りが中心である。併せて、間伐済みのエリアではあるが枯木の伐採漏れも散見され、また、水切り溝は大概が埋まっているので、これらの伐採・整備も実施した。

高枝鋸は長いもので5m弱の高所までの枯枝を切り落とすことが出来る「優れモノ」だが、長くて重い上、両手を振り上げての作業となるため、首や腕の負担大。

いわば「弁慶の薙刀」をふるう様な按配で、刃先の鋭さ、重量等々、その使用や持ち運びには細心の注意が必要なことを実感。また、鋸屑を浴びることになるので、作業は風上側からでゴーグルは必携だろう。いずれにしても、径10cm位の枝が切れるには吃驚するが切れ味が鋭い分、足場の確保、ハイカーへの十分な注意も不可欠。

枝打ち作業の傍ら5～6箇所の水切り溝の整備、掘り起こしを行った。これまでの作業で登山道は随分明るくなり、道沿いのマウントには実生が見られるようになっている。この日、登山道周辺0.1haの整備、溝修復5ヶ所を実施。天狗杉まであと一息である。

【参加者】

斧田一陽 倉谷邦雄 阪下幸一 杉本佳英 武田壽夫
松波幹夫 計6名



① 集合写真



② つる切り作業



③ 作業道の整備